



拍子木の音はとどきましたか？



会長の挨拶にもあるように昨年も1年の締めくくりとして、師走の29日・30日にパトロールのメンバーと一般会員の方々とで拍子木を響かせ、火災予防・安全パトロールをしました。特に30日は風が刺すよう冷たく歳末を実感しましたが、2日間とも3～4チームを組み星空をあおいで静かな町内を回りました。途中出会う住民の方々からの「ありがとうございます」という声に、私たちの方も心温まる思いでした。

初参加の方々の言葉から：

☆「(拍子木をたたいて)うまく響いたね！」「こんな町(夜道)は初めてだ」
…「夜回り」を体験しようと、お父さんと参加した小学生

☆「自分が住む町の安全を守る活動に自分も参加しようと思って」
…空き巣に入られた経験のある男性

☆「3.11の震災で、考え方が変わった。いざというときにはご近所の方々とのつながりが大切と強く感じた」

…都内で暮らすご兄弟でも、緊急時には遠いと実感された男性

☆「3.11の大災害で、皆の意識が変わったと思う。地域に貢献したい気持ちがあつた。年末の集いは、新しい年への願いを込めて『望年会』と名付けた」 …協力員



1時間のパトロールの後、小一時間の交流会をもち、様々な経験談や思いを語り合いました。ご参加下さった皆様、ありがとうございました。

NEW 知ってお得な防災あれこれ —災害時に生きのびるために—2

今回は家具自体が持つ危険性をお話ししましたが、今回からは対策についてです。

1. 家具調度の配置の見直し お金のかからない・頭の体操にもなる有効な対策です。

①家の中に安全地帯を作る —これは、消防署がおすすめの対策です。

スペースに余裕があれば配置替えをして、危なそうな家具は、出来るだけ一箇所に集めるのも一つの方法です。以前は納戸・箆笥部屋などと云う便利なものがありました。特に寝室には、出来るだけ、危ない家具は置かないように工夫しましょう。

あと、注意が必要なのは照明器具（特にペンダント型・シャンデリア型）です。大きく揺れてこわれて落ちてきます。ガラスを使っているものは特に危険です。

②避難経路を確保する

通路・出入り口には、転倒・移動してきて、行く手をふさぐものは、置かないよう注意が必要です。実際に、玄関に置いた本棚が崩れ、逃げ道をふさいだ例があります。

本棚は高さの割に、奥行きがなく本が重いので、壁に固定して大丈夫と思っていたのが壁を背負って倒れて来たという話もあります。

参考： 実際に対策をされる際、素人では対応できない場合に、専門知識で対応してくれる、お助けマンの紹介です。

世田谷区役所 建築調整課 耐震促進係 電話 5432-2468
玉川消防署 警防係 地域防災担当 電話 3705-0119



次回は具体的な固定方法等を紹介します。(伊藤)